

議事録 概要

1 会議名	2022年度 第1回 明石市社会福祉審議会
2 開催日時	2022年（令和4年）5月31日（火曜日）14時30分～15時40分
3 開催場所	ウィズあかし学習室 801
4 出席者	審議会委員（27人中20人）
5 次第	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 交代委員の紹介3 報告事項 明石市の福祉・こども関係重点施策<ol style="list-style-type: none">(1) 2022年度 施設整備・人材育成室の取り組みについて(2) 待機児童対策の状況について(3) 新年度の主な取組（福祉局・こども局）4 その他5 閉会
6 配付資料等一覧	<ul style="list-style-type: none">・会議次第・委員名簿・座席図・明石市の福祉・こども関係重点施策の説明 資料
7 会議の全部内容または進行記録	<p>詳細については別紙参照</p>

議事録 内容記録

司会	<p>1 開会 (14時30分)</p> <p>本会議は委員27名のうち、過半数を超える20名が出席しており、明石市社会福祉審議会条例第6条第3項の規定に定める会議の成立要件を満たしていることを報告します。</p> <p style="text-align: center;">－ 出席者 20名 －</p> <p>会議に先立ち、福祉局長よりご挨拶申し上げます。</p>
福祉局長	<p>本日は、お忙しい中、第1回明石市社会福祉審議会にご参加いただきありがとうございます。</p> <p>新型コロナウイルスの感染状況ですが、今年のゴールデンウィークは3年ぶりに行動制限のない大型連休ということで、明石の街も賑わいを取り戻し、明石市での新規感染者数は5月15日以降前週の同じ曜日を下回る状況となっております。こういった状況から審議会の開催ができることを大変嬉しく思っております。</p> <p>前回の審議会では第4次地域福祉計画について、認知症あんしんまちづくり条例の制定について、こども総合支援条例の一部改正についてご意見を頂戴したところでございます。</p> <p>そのようなご意見を踏まえまして、明石市第6次長期総合支援計画、明石SDGs推進計画によるまちづくりがこの4月からスタートしております。</p> <p>本日ですが、SDGsの未来安心都市の実現に向けた2022年度の明石市の福祉・こども関係重点施策についてご報告を申し上げます。</p> <p>すべての人にやさしいまちづくり、こどもを核としたまちづくりの重点施策でございますので、ご意見やご質問を頂戴できればと思っております。よろしく願いいたします。</p>
司会	<p>それでは、早速でございますが議事に移らせていただきます。議事進行につきましては、阪田委員長よりお願いいたします。</p>
委員長	<p>委員長の阪田でございます。</p> <p>本日は明石市の福祉・こども関係の重点施策についてのご報告でございますので、皆様よろしく願いいたします。</p>
	<p>2 交代委員の紹介</p>

<p>委員長</p>	<p>それでは、次第2「交代委員の紹介」に移らせていただきます。 お手元の資料「明石市社会福祉審議会委員名簿」をご覧ください。 人事異動等に伴う委員の交代により、新たに委員となられた4名の方につきましては、お名前の前に☆印をつけさせていただいております。 どうぞよろしく願いいたします。 次に、人事異動により新たに出席する事務局の職員につきまして、所属・氏名等の自己紹介をお願いします。 —（事務局 市職員の自己紹介）— それでは、次第3「報告事項 明石市の福祉・こども関係重点施策」に移らせていただきます。</p>
	<p>3 報告事項</p>
<p>委員長</p>	<p>(1) 2022年度 施設整備・人材育成の取り組みについて 1点目の「2022年度 施設整備・人材育成の取り組みについて」、所管部署より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>— 資料に基づき、市担当部署より説明 —</p>
<p>委員長</p>	<p>何かご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。</p>
	<p>— 質問なし —</p>
<p>委員長</p>	<p>(2) 待機児童対策の状況について 2点目の「待機児童対策の状況について」、所管部署より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>— 資料に基づき、市担当部署より説明 —</p>
<p>委員長</p>	<p>何かご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。</p>
	<p>— 質問なし —</p>
<p>委員長</p>	<p>(3) 新年度の主な取組（福祉局・こども局） 3点目の「新年度の主な取組」について、所管部署より説明をお願いします。</p>

事務局	<p align="center">— 資料に基づき、市担当部署より説明 —</p>
委員長	何かご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。
委員	認知症あんしんプロジェクトのお試しショートステイ券の発行数、利用率をお聞きしたい。
事務局	令和3年度の時点では86件となっております。利用についてはそれほど多くない状況です。
委員	ご家族から、利用して楽であったなどの意見は入っておりますでしょうか？
事務局	初めて使うには敷居が高いということもあるのかもしれませんが、一定の利用者がいるということは親族の負担軽減に繋がっていると認識しております。
委員長	ありがとうございます。何かご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。
委員	<p>2つ教えていただきたいと思います。</p> <p>1つめは、認知症あんしんプロジェクトの推進に対してですが、オレンジサポーターの養成講座などがかなり進んでいると確認しておりますが、ここに記載のあるシルバーサポーターの活動支援の認知が私自身も十分ではありません。今の状況や在宅支援のゴールドサポーターの養成とありますが、在宅支援としてはホームヘルパーなどをイメージしますが、そのような有償ボランティアの考え方でよいのか、ゴールドサポーターについて教えていただきたい。</p> <p>2つめは福祉避難所の件です。最近のニュースでは簡易トイレがニーズに合ったものが少なかったり、準備が滞っているなどの声も聞きます。現状として廃棄の問題や施設がどのように備蓄していこうとしているのか、予算的にどのように検討いただいているのかをお聞きしたい。また、備蓄のところで、食料や飲料水の消耗品の期限切れのものについて、こども食堂などで有意義にリサイクルしていただいているのかをお聞きしたいです。</p>
事務局	シルバーサポーターというと地域で認知症の方などを支援するイメー

<p>事務局</p>	<p>ジで、ゴールドサポーターとしてはもう少し専門的な知識を持ち、有償ボランティアも視野に入れていきます。</p> <p>備蓄物資につきまして、簡易トイレですが、基本的には協定施設につきましては多目的トイレを設置しておりますので、そちらを使っていただくのを原則としております。また、十分ではございませんが自動パック式トイレ、障害者用トイレ（マンホールトイレ）を一定数確保しておりますが、他市の状況、災害の関係部署、専門家にお伺いしながら、数の確保や、もっと必要なものはないか検討していきたいと思っております。食料品等の有効活用の方ですが、基本的には廃棄期限前に全て入れ替えをしておりますが、一部施設では訓練を行った場合はそのようなものを活用しながら、訓練時にご試食いただくということは聞いております。有効活用につきましては今後さらに検討していきたいと思っております。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございました。先進的に取り組みいただいている明石市ならではの活動を期待したいところです。あと、オレンジリングですが、私も実は5年前に取得したのですが、そのあとが続かない現状があり、認知度は高まっていますが、取得したその後、福祉的な人材としてその後活用していくかを考えていく必要があると思っております。よろしく願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>明石市としてはオレンジサポーターの養成は積極的に行っているところでございます。オレンジリングを皆様にお渡ししているところではあります、携帯しにくいとの声もお伺いしておりますので、明石市独自でバッジなど子供たちでもつけやすいようなものを配付しております。</p> <p>オレンジサポーターを養成しまして、明石市独自でシルバーやゴールドと知識を深めていき、いろんなところに貢献していけたらと思っております。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。他に質問はありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>待機児童の記載がありますが、例えば、隠れ待機児童や明石市内において待機がゼロのようなところもあるのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>待機児童数につきましては国の基準に基づいておりまして、隠れ待機児童の数字につきましては明石市の方が比較的數字をシビアに見ております。待機児童につきましてできる限り対策に取り組んでおります。</p>

<p>委員長</p>	<p>また、新設の保育園の4,5歳枠は比較的空き気味であり、育休制度の変更に伴い0歳枠が4月当初は空いておりますが、月が進むにつれてどんどん埋まっていく状況でございます。地域差もございまして、待機児童の多い地域と少ない地域というのもございます。</p> <p>ありがとうございます。他に質問はございますか。</p>
<p>委員長</p>	<p>4 その他</p> <p>それでは、次第4「その他」に移りたいと思います。</p> <p>次回、第2回目の会議は、来年、2023年2月頃の開催を予定しています。</p> <p>日程につきましては、多少前後する場合も考えられるほか、新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、書面による会議とさせていただきます。</p> <p>議題につきましては、各専門分科会の活動報告、令和5年度の活動予定などとする予定です。</p> <p>この他、委員の皆様より、市の福祉施策等に関し、ご意見・ご質問等がございましたらお願いします。報告事項についての説明は以上です。ご質問等はございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>明石市には高齢者施設があり、新型コロナウイルス感染拡大状況がなかなか収束しない中で、保健所にはワクチンの件などで相談に乗ってもらうなど、非常に助かっています。一点、お願いとして、施設に対し、手袋・マスク・アルコール等の物品の提供をしていただきありがたいのですが、一番の問題は、抗原検査の簡易キットが充足していないことです。一度のクラスターが出たときにどこまで検査をするのか、特に入所の場合は職員のチェックをしていかないといけない。また、デイケアなど大量に必要となったときに足りない。安価なものは精度の問題がありあまりよくないということで、県や国に聞くと配布しますとのこと。明石市としても配布システムを構築してもらえたら助かるなと思っています。クラスターが発生した場合、どこまで検査をするかは保健所と相談しながら進めてはいますが、いづれか明石市として備蓄をお願いできたらと思います。よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>抗原検査、キットの配布というところのご意見を賜りありがとうございます。今年の1月、オミクロン株が流行しまして、市内の各施設の感染対策の徹底にご尽力いただいたおかげで、クラスターが発生したものの混乱することもなく今を迎えられていると思っております。また、現状も市内</p>

	<p>の施設等では、高齢者の感染者が出ておりますが、そんなに多くない状況でございます。これも各施設、事業所の職員の方々の感染対策の徹底のおかげだと思っております。</p> <p>その中で、早期発見、クラスター防止のために抗原検査のキットの配布というところではありますが、市内ではワクチン接種も進んでいることから、現在のところ実施しておりませんが、本日のご意見を踏まえまして、あかし保健所と意見交換を行い、検討していきますのでよろしくお願いたします。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。他に質問はございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>グループホームの問題で、グループホームは終の棲家ではなく、あくまでも通過点である。その後支援を受けながら一人で生活していこうという考えがあるが、現状は軽度の方向けのグループホームは割と多いが、重度の方を支援するグループホームがなかなか無い現状であり厳しい。明石市として今後グループホームの設置をどのように考えていくか。</p> <p>また、ヤングケアラーの問題や、老障介護、経済的にも相互依存にある世帯などについても一つ考えていただきたい。</p> <p>また、個別避難計画の中で、名簿に挙がるのは療育Aのみとなっている。そのあたり柔軟にご対応いただきたいと前回もお伝えしていますが、現状どのように活かされているのかをお伺いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>入所施設とは、以前は少し不便な場所にあつて、そこに入ったら親も安心、子供たちも幸せという時代があつたのですが、そうではなく、地域で暮らすんだということで地域の中にグループホームができ、そこで地域の方と交流をしながら生活するという形に変わっていったとご出席の委員の皆さんと共通認識だと思います。グループホームから卒業するという考えが出てきているようなのですが、果たしてそれが全国において共通するような話なのか、どのようなパターンが成功しているのか、今後国がどのような動きをするのかを注視していかないといけないなと思っております。流れとしては、グループホームから卒業して地域で働いて一人暮らしへという流れもあるし、重度障害のグループホームの中で過ごされるということもあるので、そのような動きを市も一緒になって取り組んでいけたらと思っております。</p> <p>老障問題としては、いろんな事情が各ご家庭によって異なると思うので、個別支援として判断していく必要があると思われる。具体的に個々の問題を見ていかないと難しいと思っている。よく失敗するのは、地域の支</p>

事務局	<p>援者は別々に暮らした方が良いとするが、当事者たちは一緒に過ごすのが幸せであると。そこをどうバランスをとって支援していくかは個別支援が必要と考えております。</p> <p>避難行動要支援者名簿の中では一定の線引きはあるのですが、個別避難計画の取り組みの中で、本当にこの人だけで良いのかという議論はあり、本当に支援の必要な方に対し、避難計画を作成するのが必要なのではと庁内で協議を行っているところでございます。現状は療育Aなどが一定の基準とはなっていますが、もれなく汲み取れる方法はないかと試行錯誤をしながら策定しているところでございます。</p>
委員	<p>老障問題につきましては、90%以上が母子同居であると。そのためお母さんが亡くなったという状況が目に見えているので、そうなったらどうするのか、後見人の問題や入所の問題を突き詰めていかなければと思います。具体的な政策で具現化してほしいと考えています。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。他に質問はございますか。</p>
委員	<p>高齢者ふれあいの里ですが、建物も古くなり、利用者の数も減っているように思う。明石市としてもっと利用しやすい建物に建て替えるなども考えてほしい。近くに高齢者ふれあいの里があるので、最近の利用者も減っているように思う。またお風呂も使えないとのことですので、どうしていきたいのかをお聞きしたいです。</p>
事務局	<p>利用者は、元々微減の状況ではありましたが、この度の新型コロナウイルスの感染拡大により、利用者が減少している事実があります。しかし、利用されている方というのは健康体操や囲碁・将棋などで引き続き利用されておりますので激減しているわけではありません。できるだけ閉館はせずに感染対策を取りながら開館を続けております。</p> <p>施設が古くなっているというのは事実で、新しく建て替えるということは難しいですが、たくさんの方にご利用いただいておりますので、例えば使いにくいトイレなどを今年度リニューアルしていく予定です。また、よりたくさんの方にご利用いただきたいということもありますので、来年度からは全市民の方にお使いいただける施設とする予定です。</p>
委員長	<p>他にご意見ございますでしょうか。</p>

<p>委員</p>	<p>明石市立商業高校に福祉科創設ということでご尽力いただきありがとうございます。子供たちが福祉を学ぶ機会をいただいたというのは大変素晴らしいと思います。人材育成にも関わってくるのですが、福祉の分野に進む人達が少ない現状があります。高齢者や障害者の虐待など、マイナスイメージの強い報道がされ、福祉施設は怖いところというイメージがある。働いている職員は皆さん本当に一生懸命働いています。障害者の特性や、障害者本人の声をしっかり学ばないと誰でもできる仕事ではないと思います。ぜひとも福祉科を創設された際には、障害当事者の方や市内の福祉関係で働く従事者の方と協力していただいて、これからの福祉を伝えていくようなカリキュラムを組んでいただきたいと思います。そのためにも我々施設の方にもできるようなことがあれば、最大限協力させていただきたいと思っておりますので、ぜひともよろしく願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>福祉の分野に子供が進むというのはハードルが高い状況で、まず中学生の段階で福祉に関する理解をしてもらって、福祉科を選んで入学してもらおうということになるのですが、進んだ後も福祉の総合的な学習を行っていきたいと思っています。座学としての福祉の勉強はもちろんですが、福祉の世界というのを広く伝えていくのも必要であると思っておりますので、開設の際には事業所の皆さんにご協力いただきながら、進めていきたいと思っております。よろしく願いいたします。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、進行を事務局にお返しします。連絡事項等ありましたらお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p style="text-align: center;">— 事務局より事務連絡 —</p> <p>5 閉会 (15時40分)</p>